



# ゆうな医療・介護の相談たより

2022年11月号

発行：沖縄県ゆうな協会 医療・介護の相談窓口  
電話：098-832-9528  
E-mail：iryokaigo@yuunakyokai.jp

医療・介護の相談たよりでは、ゆうな協会の相談に関する取り組みや、医療・介護・福祉に関する制度・サービス、皆さんから寄せられた相談・質問の中で、共通する内容等を守秘義務を遵守し、ご紹介していきます。

**相談専用のメールアドレスができました！**プライバシーを尊重し、個人情報に配慮し、秘密は厳守致します。メールでのご相談もお待ちしています。

●今月の相談：「大学生です。新型コロナウイルス感染症に罹ったこともあり、感染症について関心があります。また時々、新聞にハンセン病問題についての記事が載るので、もっと知りたいと思いました。何処に行けば学ぶことができますか。」

Q：男性、20代。自分が感染症に罹り、授業を休んだり、オンラインで授業を受けなければならない経験をしました。感染症に罹ったことを、周りに知られないようにしたいという気持ちになったり、治ってからも、授業に出たら周りに嫌がられるのではないかと気になりました。ハンセン病の回復者の皆さんも、自分と同じような経験をされたのか、どのような気持ちで生活されていたのかを教えて欲しいと思っています。

A：誰もが新型コロナウイルス感染症の不安を抱えている今、ハンセン病問題を自分のこととしてぜひ知ってほしいと思います。ハンセン病への誤った国の政策により、ハンセン病回復者とその家族は、長い間、偏見や差別に苦しんできました。その苦しみは、今も続いています。沖縄県ではホームページやパンフレット等でハンセン病問題解決に向けて学校や地域の団体、住民への普及啓発を行っています。大学生にもゼミ活動や卒業論文のテーマとしてハンセン病問題を取り上げ、フレッシュな視点で課題解決への提言をしてもらえることを期待しています。

また、沖縄愛楽園・宮古南静園では入所者の講話やボランティアガイド、学芸員による園内案内、展示解説等も行われています。（現在、制限がありますので、各自治会・資料館にお問合せください。）沖縄県ゆうな協会にも「ゆうな藤楓センター啓発資料室」があり、見学ができます。ホームページではYouTubeによるハンセン病回復者による講話が配信されています。

学外ゼミで愛楽園見学2022年11月



<http://www.yuunakyokai.jp/youtube.html>

社会福祉士実習でゆうな協会資料室見学2022年10月

●今月のピアサポート活動等の紹介：

・楓の友の会は、コロナ禍のため、対面ではなく電話やメールで近況報告を行っています。